

様式4

第1 事業計画

1 個別事業計画一覧表(1)

令和7年6月25日 現在

目標	事業種目 (メニュー)		実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考				
林業・木材産業の 生産基盤強化	間伐材生産	間伐材生産						円/ha m ³				
		関連条件整備活動										
		うち森林作業道整備										
		合計						0	0	0		
	路網整備・ 機能強化	林業専用道(規格相当)の整備	A区分	魚津市 黒部市 富山市 立山町 高岡市 砺波市 南砺市	新川森林組合 立山山麓森林組合 富山森林組合 富山県西部森林組合 (株)グリーンマテリアル北陸 富山県				設計・技術審査会あり			
			B区分							573	40,110	20,055
			C区分									
			補強									
		点検診断										
		森林作業道の整備					9,159	35,970	17,985			
		林道等の機能強化	機能強化(単独型)									
			機能強化(一体型)									
			森林作業道の機能強化				2箇所	21,896	8,310			
		林業専用道(規格相当)の復旧										
		合計						97,976	46,350			
		附帯事務費							900	450		
		総計							98,876	46,800		

- (注)
- 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の事業実施主体については、林野庁長官が別に定める考え方に則って都道府県知事が選定した林業経営体、本事業の対象となる事業実施主体を記載すること。
 - 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の各欄については、林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が設定した生産基盤強化区域内又は市町村森林整備計画に定める特に効率的な施業が可能な森林の区域内において実施する事業について記載すること。
 - 「実施市町村」は、事業実施主体が事業を予定している市町村名を記載すること。
 - 「事業量」、「事業費」及び「国費」については、事業種目ごとに合計を記載し、間伐材生産、路網整備・機能強化については、2事業の総計を「総計」欄に記載すること。
 - 「間伐材生産」は、定額の単価と間伐材生産量を備考欄に記載すること。
 - 「路網整備・機能強化」の「林業専用道(規格相当)」については、設計・技術審査会の設置状況を備考欄に記載すること。
 - 「森林整備地域活動支援対策」については、「交付金」「基金」別に記載することとし、備考欄に事業実施年度も記載すること。
 - 「低コスト再造林対策」は、定額の単価及び具体的な施業、植栽樹種、植栽本数、下刈り回数、資機材の種類を事業種目に応じて備考欄に記載すること。
- * 行については、適宜加除のこと。

1 個別事業計画一覧表(2)

現計画
今回変更

<合計>

目標	メニュー	実施内容	事業実施主体	事業費 (千円)	国費 (千円)	地域 提案	備考
山地防災情報の周知				0	0		
森林資源の保護				0	0		
林業の多様な担い手の育成				(23,178) 24,201	(11,235) 11,700		
林業経営体の育成				39,050	(11,241) 10,776		

<個別事業計画>

林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	1. 雇用の改善及び事業の合理化支援 2. 地域の実情に応じた林業就業者に対する技術研修 3. 森林施業プランナー育成のための研修	(公社)富山県農林水産公社 (富山県林業労働力確保支援センター)	14,267	7,133		雇用改善等支援研修13コース等 人件費2,213千円 謝金769千円 賃金1,960千円 旅費215千円 需用費719千円 役務費117千円 使用料509千円 講習費247千円 委託料7,518千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	1. 林業の労働安全に関する実技研修会等の実施、安全作業対策の支援等 2. 労働安全管理体制の整備 3. 蜂刺傷災害対策の実施	富山県	648	324		巡回指導10箇所 セミナー1回等 使用料4千円 謝金40千円 旅費10千円 需用費90千円 役務費40千円 委託料464千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	土井木材(株)	154	70		安全地下足袋49千円 安全長靴105千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	(株)先祖山業	143	65		防護スポン55千円 防護チャップス40千円 脚絆26千円 クールインナー22千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	(有)尾谷林業	176	80		防護スポン83千円 ヘルメット82千円 林業用手袋11千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	自伐型林業の推進に伴う資機材の整備	(特非)ひみ森の番屋	498	249		薪割り機398千円 技能講習費100千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	(株)グリーンマテリアル北陸	3,355	1,525		林内作業車3355千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	MSKリース(株)	3,937	1,789		林内作業車3850千円 苗木運搬袋87千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	株式会社 優森Grow	(0)	(0)		-
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	株式会社 優森Grow	1,023	465		オーガ_2基 290,400円 小型チェーン(充電式)_1台 121,550円 チェーン予備バッテリー_1個 26,290円 刈払機(充電式)_2台 218,900円 刈払機予備バッテリー_2組 75,240円 バッテリー収納ケース_1個 8,910円 チップソー研磨機 29,480円 笹刃研磨機 33,880円 鋤_2本 143,000円 ダブル 2本 45,320円 下刈鎌_3本 30,624円 計 1,023,594円
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(林業機械リース支援)	グラップルソー 1台	富山県西部森林組合	39,050	(11,241) 10,776		残価:1,775千円

(注)

- 1 メニューについては、別表4に定める事項を記載すること。
 - 2 実施内容については、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱(平成30年3月30日付け29林政第893号農林水産事務次官依命通知)別表2の2の経費欄に掲げる内容を踏まえ、わかりやすく簡潔に記載すること。
 - 3 目標ごとに事業費及び国費の合計を記載すること。
 - 4 地域提案事業は、個別事業計画ごとに地域提案の欄に「○」を記載すること。
 - 5 実施地域及び項目ごとの積算基礎(実施数量、事業費の内訳)を備考欄に記載すること。
 - 6 「林業経営体の育成」の実施内容、事業実施主体、事業費、国費及び備考欄については、林業機械リース支援を活用する事業実施主体ごとに記載することとし、実施内容欄については導入予定機械名及び台数を記載すること。また、機械の再貸付けを行うものについては、備考欄に「再貸付」と記入すること。
- * 行については、適宜加除のこと。

2 計画主体ごとに定める指標（全体指標）

目標	事業種目 (メニュー)	全体指標	指標設定の考え方 (目標との関連性)	現状値			目標値			備考
				数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	
林業の多様な 担い手の育成	人材の確保・育成・定着	素材生産量(目標値)	素材生産量の達成に資するには、林業担い手の確保・育成・定着が必要不可欠である。	110	千m ³	R7 (2025)	145	千m ³	R8 (2026)	
		認定事業体数	雇用の改善や事業の合理化が図られた認定事業体の増加を推進することは、林業の担い手の確保・育成に資する。	17	事業体	R7 (2025)	19	事業体	R8 (2026)	
		新たに造林事業を開始する者等の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成を推進することは、林業担い手の確保・育成に資する。	430	人	R7 (2025)	430	人	R8 (2026)	
		労働安全の確保	労働災害発生を減らし、労働者の安全と健康を確保することは、林業担い手の確保・定着に資する。	5	件	R7 (2025)	5	件	R8 (2026)	
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	森林整備や素材生産を効率的に行うため、指標に定める素材生産量及び素材生産性の増加に資する高性能林業機械を整備を支援する。	110	千m ³	R7 (2025)	145	千m ³	R8 (2026)	増加量： 35千m ³ 増加率： 31%
		素材生産性(目標値)		5.7	m ³ /人日	R7 (2025)	6.0	m ³ /人日	R8 (2026)	増加量： 0.3m ³ /人日 増加率： 5%

(注)

- 1 目標単位での事業計画がある場合は、該当する全体指標について記載すること。
- 2 メニュー及び全体指標については、別表4に定める事項を記載すること。ただし、目標「林業の多様な担い手の育成」における全体指標の一部及び「森林資源の保護」における全体指標については、別表4を踏まえ、地域の実情に応じたものを設定すること。また、全体指標ごとに定める()書き内の増加量、増加率等については備考欄に記載のこと。

* 行については、適宜加除のこと。